

再評価調査

事業名	都市計画道路 道祖本摂津北線整備事業			
所在地	茨木市豊川3丁目、4丁目、5丁目及び西豊川町地内			
再評価理由	事業採択後10年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	都市基盤整備公団が基盤整備を進めている彩都（国際文化公園都市）と大阪市内とを大阪中央環状線を介して結節し、彩都の交通動脈としての機能を担うとともに、併せて整備を進めているモノレールの導入空間としての機能を発揮する。		
	内容	延長 0.4 km 幅員 22.0m～48.0m 道路区分 第4種1級 4車線道路		
	事業費	全体事業費：約2.8億円 （内訳）用地費 約1.7億円 工事費 約1.1億円		
	維持管理費	約2.4百万円/年（約6百万円/km・年）		
	上位計画	大阪府道路整備長期計画 大阪府都市基盤整備中期計画（案）		
	関連事業	国際文化公園都市特定土地区画整理事業 国際文化公園都市モノレール事業 H9.2 事業認可取得 茨木市豊川駅前広場整備事業 H14.5 事業認可取得		
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度 H6年度 事業着手年度 H6年度 完成予定年度 H16年度	H6年度 H6年度 完成予定年度 H19年度	・平成16年春の一部まちびらきに併せた整備を進めている。
	進捗状況		用地 95% 工事 15%	
	途中段階の整備効果発現状況	・彩都の一部まちびらき（平成16年春）に併せて、暫定2車線の整備を行うことから、アクセス機能は確保できる。		
事業進捗に関する課題				

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		<p>（現道） 府道茨木摂津線 幅員 w = 22.0m 混雑度 1.20（平成6年）</p> <p>24時間交通量 34,345台（平成6年）</p>	<p>（現道） 府道茨木摂津線 幅員 w = 22.0m 混雑度 1.20（平成6年） 1.45（平成9年） 0.97（平成11年）</p> <p>24時間交通量 34,345台（平成6年） 35,216台（平成9年） 32,935台（平成11年）</p>	混雑度、交通量とも若干の変動は見られるが、依然として混雑している。
		<p>（関連事業） 彩都 ・事業主体 都市基盤整備公団 ・事業期間 平成6年度 ～平成24年度 （平成16年度一部まちびらき） ・開発面積 742.6ha ・計画人口 居住人口 50,000人 施設人口 24,000人</p>	<p>（関連事業） 彩都 ・事業主体 都市基盤整備公団 ・事業期間 平成6年度 ～平成24年度 （平成16年度一部まちびらき） ・開発面積 742.6ha ・計画人口 居住人口 50,000人 施設人口 24,000人</p>	変化なし
	地元等の協力体制	本事業と併せて地元市が駅前広場の整備を計画しており、市は協力的である。	<p>・本事業と併せて地元市が駅前広場の整備を計画しており、市は協力的である。 ・彩都へのメインのアクセス道路であることから、まちびらきに併せた整備が望まれている。</p>	平成16年春の一部まちびらきに併せた整備を進めるために、引き続き地元の協力を得て、事業推進に努める。

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出できず。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 走行時間の効果 （走行時間の短縮） 走行経費の効果 （時間短縮による走行経費の節減） 受益者 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 2.60$ 便益総額 B = 約78億円 総費用 C = 約30億円 	
	その他の指標（代替指標）	<ul style="list-style-type: none"> 混雑度 交通量 			
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 道路空間確保によるライフライン導入空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者、道路占有者、道路管理者 	変更点特になし	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 彩都の支援 地域間交流連携の強化 物流の効率化の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者、就労者 	変更点特になし	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> 良好な都市景観の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策		<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備により旅行速度が向上し、CO₂の排出量が削減される。 植樹帯の設置により、緑の回復に努める。 		変更点特になし	
その他特記すべき事項					